



2021年3月8日

各 位

会 社 名 明 和 産 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 吉 田 毅
(コード番号 8103 東証第一部)
問合せ先 総務人事部長 福 島 弘 久
(TEL.03-3240-9011)

「電池サプライチェーン協議会」参加に関するお知らせ

今般、電池サプライチェーン（電池の材料、部品およびその原料に関わる産業）の国際競争力強化を推進する新団体「電池サプライチェーン協議会（以下「BASC」）」が設立されることとなり、本協議会設立の目的を踏まえ発足時より参加することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 団体の概要

- ・ 名称：一般社団法人 電池サプライチェーン協議会
(英語表記：Battery Association for Supply Chain; BASC)
- ・ 代表：会長 阿部 功（住友金属鉱山株式会社 執行役員）
- ・ 設立：2021年4月1日
- ・ 目的：脱炭素社会実現に向けての電池サプライチェーンの国際標準化や電池エコシステム構築等
- ・ 会員：当社含め電池サプライチェーン関連企業約30社（設立時点）

2. 当社の取り組みにおける参加の背景

当社は、電池分野における事業の拡大や新たな循環型ビジネスの事業化を成長戦略の一つとして掲げその取り組みを推進しておりますが、グローバル競争が激化する中、国内電池サプライチェーン課題の解決に向け当社の取り組みを役立てるとともに、低環境負荷、安心安全で快適な移動に貢献し、企業価値の向上を目指してまいります。

3. 今後の見通し

今般の参加は、中長期的に当社グループの業績向上に資するものと考えておりますが、2021年3月期の連結業績に与える影響につきましては軽微であると見込んでおります。今後、本協議会への参加により公表すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上

別紙：電池サプライチェーン協議会（BASC）について

電池サプライチェーン協議会(BASC)について



**Battery Association
for Supply Chain**

2021年3月8日

1. 設立の背景①

世界各国で脱炭素社会に向けて電池に係わる取り組みが加速

欧州

- ・欧州バッテリー指令の公表（2020年12月）

中国

- ・リチウムISO規格の技術委員会（TC）の
幹事局として主導（2020年）
- ・電池資源確保に向けたアグレッシブな投資拡大

米国

- ・電池含む重要部品のサプライチェーン見直し表明（2021年2月）

日本

- ・2050年目標 CO2排出実質ゼロ宣言（2020年10月）

1. 設立の背景②

国内電池サプライチェーンに係る当面の課題

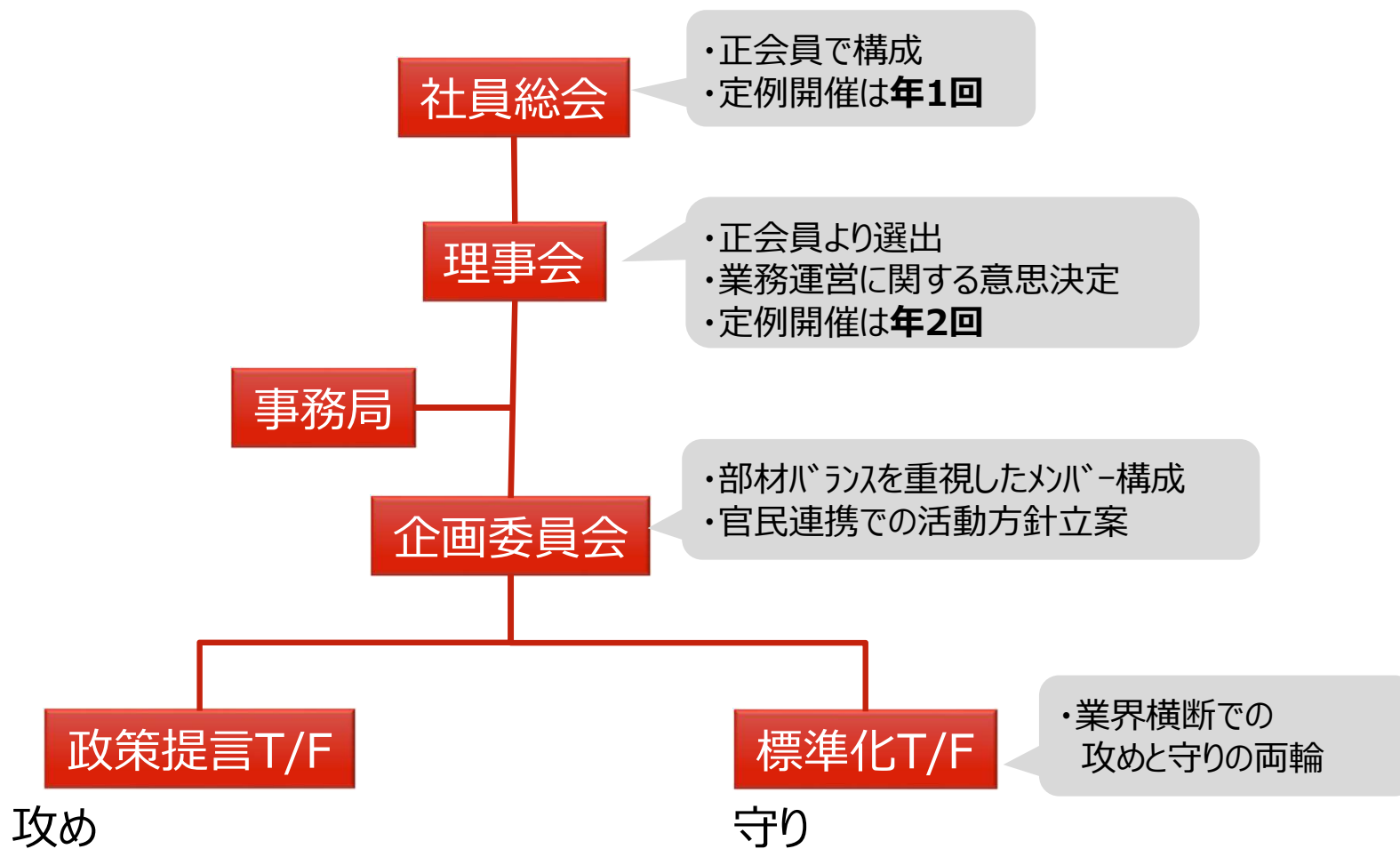
- ・電池サプライチェーンの標準化に対し、国内審議団体が無い
- ・サステナブルな電池エコシステム構築が急務
- ・電池サプライチェーン産業 グローバル競争激化

➡ 上記の課題解決のため、横断的な団体が必要

2. 団体概要

目的	電池材料、部品及びそれらの原料の工業及びサプライチェーン関連産業の健全な発展を図る
団体名	一般社団法人 電池サプライチェーン協議会 (英文名 : BATTERY ASSOCIATION FOR SUPPLY CHAIN 略称 : BASC)
設立日	2021年4月1日(予定)
設立形態	一般社団法人
会員 (50音順、 敬称略)	出光興産、岩谷産業、宇部マクセル、MUアイオニックソリューションズ、GSユアサ、昭和電工マテリアルズ、住友金属鉱山、セントラル硝子、大日本印刷、田中化学研究所、豊通リチウム、日亜化学工業、日本化学産業、日本触媒、パナソニック、阪和興業、ビークルエナジー、富士発條、プライムアースEVエナジー、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、本田技研工業株式会社、三井金属鉱業、三井物産、三菱ケミカル、三菱商事、明和産業、森田化学工業、UACJ 28社(2021年3月4日時点)

3. 組織体制



4. 活動内容

攻め

政策提言T/F

- 国際競争力強化
- 電池エコシステム構築
- カーボンニュートラル実現

守り

標準化T/F

- 国際標準審議
- 新規標準立案

電池サプライチェーン産業全体の健全な発展

5. 会員企業様

